



祝 辞

沖縄総合事務局
営繕調査官 朝 倉 健

復帰30年の成果

本日ここに、沖縄県設備設計事務所協会並びに社団法人建設設備技術者協会九州支部沖縄会の平成14年度通常総会が開催され、盛会のうちに滞りなく終了されましたことを心よりお祝い申し上げます。また、この懇親会にお招きいただき、皆様方にご挨拶申し上げる機会を頂きましたことを感謝申し上げます。

沖縄総合事務局は、沖縄の本土復帰と同時に設置されて以来、沖縄振興開発に基づき、沖縄経済の自立発展、県民生活の安定向上の基礎となる社会基本の整備を推進してまいりました。

その結果、官庁営繕事業としまして、各省庁の単独庁舎をはじめ合同庁舎、研修施設等、多岐にわたる施設整備を行い沖縄の官庁施設は、本土復帰30周年という節目を迎え、述べ面積、約15万㎡となり確実にその成果を揚げることができました。

これもひとえに会員の皆様をはじめ関係各位のご支援御協力の賜であり、深く感謝申し上げます次第であります。

昨年は沖縄亜熱帯計測技術センター及び、中城海上保安署庁舎等を完成させ、本年は裁判所平良支部庁舎の建設に着手しました。

継続工事として平成15年度の開演を目指して、国立おきなわ劇場の建設工事が本格化しております。本施設は、沖縄の組踊をはじめとする沖縄伝統芸能の保存振興を図ると共に、伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流の拠点として期待が寄せられています。

また、那覇新都心地区に行政の核となる施設として、那覇第二地方合同庁舎一期棟もおなじく平成15年度の竣工を目指し建設工事が進められております。本庁舎は、防災拠点としての機能を備えると共に、環境に配慮したグリーン庁舎として地球環境問題の対応策に基づく整備を図っています。早期着工が望まれている二期棟、三期棟の建設を通して公共及び商業施設と共に、潤いとにぎわいにあふれた街を形成し、那覇市のより一層の活性化に寄与してまいります。

なお、開発建設部では、設備についても建築設備設計業務並びに工事管理業務について検討を進めているところであります。については設計者並びに工事管理者選定の情報源となる[公共建築者設計者情報システム]へのご理解をお願いする次第であります。

終わりに、貴会の皆様が、建築設備技術が高度に進歩してくる中で、会員相互の交流を通し、先進技術の導入、技術力の向上に取り組み、地域の発展に果たされて来られたことに深く敬意を表すと共に、建設行政になお一層のご支援と、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

沖縄県設備設計事務所協会並びに社団法人建設設備技術者協会九州支部沖縄会のますますのご発展と、ここにお集まりの皆様のご健勝と祈念して私の挨拶と致します。

